

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	日本を除く主要国の公社債への投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要運用対象	明治安田外国債券ファンド	日本を除く主要国の公社債を主要投資対象とする明治安田外国債券マザーファンドを主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	明治安田外国債券マザーファンド	日本を除く主要国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	明治安田外国債券ファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	明治安田外国債券マザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回決算（原則3月9日。休業日の場合は翌営業日）を行い、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。	

明治安田外国債券ファンド

愛称：ハリアー

運用報告書（全体版）

第20期

（決算日 2020年3月9日）

受益者のみなさまへ

平素は「明治安田外国債券ファンド」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第20期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

◎最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		債券 組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
(第16期) 2016年 3月 9日	14,230	200	△5.9	442.50	△4.8	96.9	124
(第17期) 2017年 3月 9日	13,675	140	△2.9	433.05	△2.1	98.0	124
(第18期) 2018年 3月 9日	13,742	160	1.7	440.05	1.6	98.0	124
(第19期) 2019年 3月11日	13,715	140	0.8	453.26	3.0	93.4	130
(第20期) 2020年 3月 9日	13,712	240	1.7	482.37	6.4	96.3	134

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

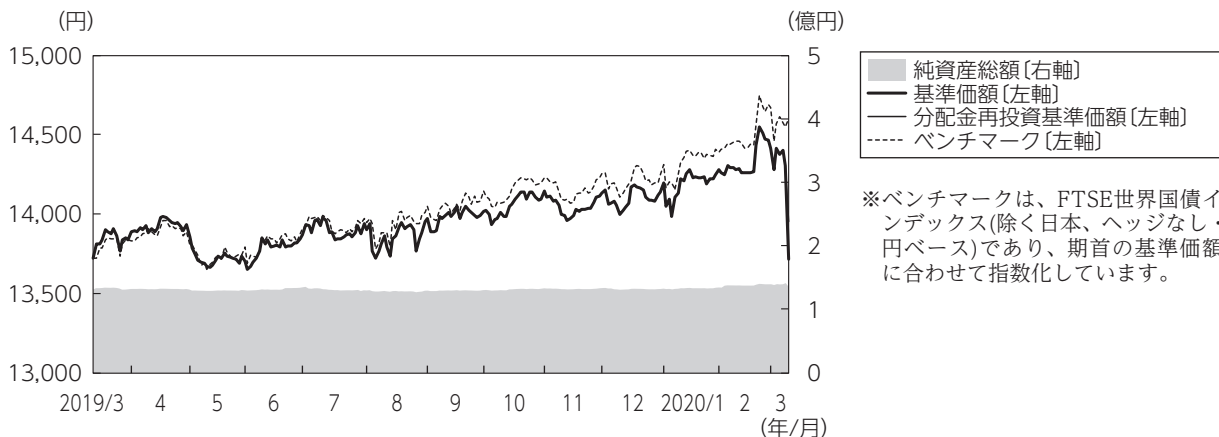
年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)		債券組入比率
	騰落率	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率	
	円	%		%	%
(期首)2019年 3月11日	13,715	—	453.26	—	93.4
3月末	13,882	1.2	456.98	0.8	94.3
4月末	13,851	1.0	456.10	0.6	96.1
5月末	13,701	△0.1	455.64	0.5	96.6
6月末	13,868	1.1	459.55	1.4	96.7
7月末	13,895	1.3	460.69	1.6	95.6
8月末	13,969	1.9	464.28	2.4	96.3
9月末	14,011	2.2	467.48	3.1	95.5
10月末	14,142	3.1	470.06	3.7	94.8
11月末	14,129	3.0	470.90	3.9	93.9
12月末	14,192	3.5	472.81	4.3	92.8
2020年 1月末	14,278	4.1	475.35	4.9	93.5
2月末	14,410	5.1	484.79	7.0	94.0
(期末)2020年 3月 9日	13,952	1.7	482.37	6.4	96.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)であり、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

第20期首(2019年3月11日)：13,715円

第20期末(2020年3月 9日)：13,712円(既払分配金240円)

騰落率：1.7%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて日本を除く世界各国の公社債に分散投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

- ・ 組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・ 世界的な金融緩和政策、米中通商問題への懸念、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に長期金利が低下し、組入債券の価格が上昇したこと

(下落要因)

- ・ 米中通商問題への懸念、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に投資家の安全通貨とされる円を買う動きが強まり、主要通貨が円に対して下落したこと

■投資環境

外国債券

当期の米国債券市場と欧州債券市場（ドイツ）で長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。期首から8月にかけて、F R B（米連邦準備制度理事会）による緩和方向への金融政策転換の示唆を受けた利下げ観測の高まり（7月、9月、10月に利下げ実施）やE C B（欧州中央銀行）による、金融緩和観測の高まり（9月に利下げ、11月より量的緩和の実施）などから低下基調で推移しました。その後、米中通商協議において米中両国の歩み寄りがみられたことから上昇基調となりましたが、2020年1月下旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大が世界景気に与える懸念から再度低下しました。

外国為替

当期の米ドルおよびユーロは円に対して下落しました。期首から8月にかけては、米国長期金利の低下やE C Bによる金融緩和観測の高まりに加えて、根強い米中通商問題への懸念などから下落基調で推移しましたが、9月以降は、米中貿易摩擦に対する懸念の後退などから緩やかな上昇基調となりました。期末近くには新型コロナウイルスの感染拡大が世界景気に与える懸念から安全通貨とされる円を買う動きが強まり、両通貨とも大きく下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

明治安田外国債券ファンド

期首の運用方針に基づき、期を通じて明治安田外国債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

なお、マザーファンドの運用に関して、2019年6月7日より、UBSアセット・マネジメント(UK)リミテッドとの運用指図に関する権限の委託契約を解除し、自社による運用といたしましたが、ファンドの運用に影響を及ぼすものではありません。

明治安田外国債券マザーファンド

期首の運用方針に基づき、日本を除く主要国の公社債を中心に投資を行い、公社債の組入比率は原則として高位を維持しました。

当期中の投資行動としては、ファンダメンタルズ分析と市場動向分析を踏まえ、各国金利の方向性や通貨の相対的な割高割安の観点から、組入比率の変更や銘柄入れ替えを行いました。

[デュレーション・イールドカーブ戦略]

デュレーションは、期首よりベンチマーク対比で短期化した水準を継続しました。6月7日以降は、各国の経済ファンダメンタルズや金融政策の方向性の違い等を考慮し、状況に応じてベンチマークに対して短期化、長期化ともに実施しました。また、米国債については、ベンチマークに対し、デュレーション中立を基準に市場環境に応じて短期化、長期化ともに実施しました。欧州債についてはデュレーションは概ね短期化または中立としました。

[国別配分戦略]

ベンチマーク対比で米国、ユーロ圏、英国をアンダーウェイトとしました。

[通貨別配分戦略]

米ドルは、期首はベンチマーク対比でアンダーウェイトとし、4月以降アンダーウェイト幅を縮小しました。ユーロは、期首はアンダーウェイトとし、4月以降アンダーウェイト幅を拡大しました。6月7日以降は、主にユーロ圏通貨をオーバーウェイト、ドル圏通貨のアンダーウェイト戦略を実施しました。

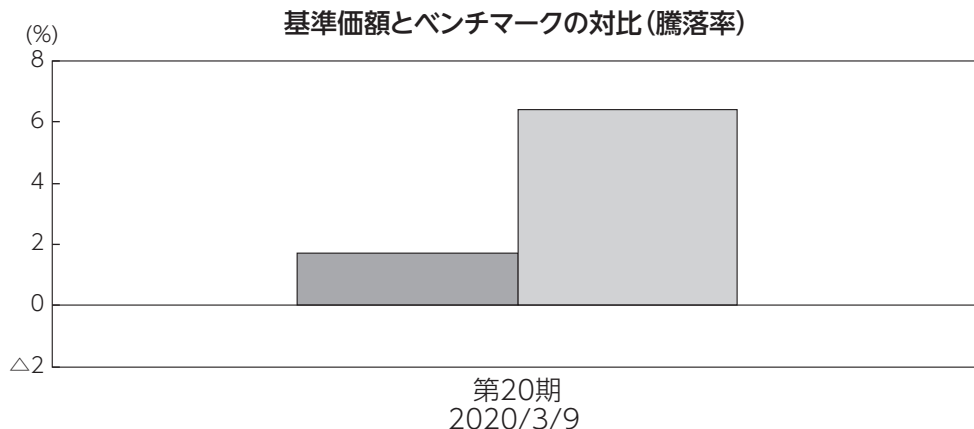
[種別・個別銘柄戦略]

非国債の保有を継続しました。

[債券特性]

	期首	期末
修正デュレーション	7.2	8.1
残存年数(年)	8.8	8.7
複利最終利回り(%)	1.8	0.5

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異



※ファンドの騰落率は分配金込み

■ 基準価額 ■ FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

当期の基準価額の騰落率（分配金込み）は+1.7%となりました。一方ベンチマーク騰落率は+6.4%となり、騰落率の差異は△4.7%となりました。この差異に関する主な要因は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・ 期首から5月にかけて良好なパフォーマンスだった米国国債をベンチマークに対してオーバーウェイトしたこと
- ・ 6月7日以降、期中において機動的な調整を行う中、イタリア国債とスペイン国債のオーバーウェイト等の欧州圏における資産配分戦略が奏功したこと

(マイナス要因)

- ・ 基準価額とベンチマークで採用される為替レートの差異
- ・ 信託報酬等の諸費用を計上したこと

■分配金

- ・収益分配については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり240円（税込み）の分配を実施しました。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり、税引前）

項目	第20期
	(2019年3月12日～2020年3月9日)
当期分配金	240
(対基準価額比率)	1.720
当期の収益	168
当期の収益以外	71
翌期繰越分配対象額	6,822

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

明治安田外国債券ファンド

引き続き、明治安田外国債券マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

明治安田外国債券マザーファンド

引き続き、日本を除く主要国の公社債を中心に投資を行い、公社債の組入比率は原則として高位を維持します。以下の各戦略を策定し、ポートフォリオを構築します。

[デュレーション・イールドカーブ戦略]

- ・米国は、カーブ戦略はスティープバイアス、デュレーション戦略は市場のテーマ等を勘案し、短期化・長期をとともに検討します。
- ・ユーロ圏は、低金利環境継続の見通しが市場で強まる中においては、対独スプレッド戦略やロール・キャリーを重視したポジションを検討します。

[通貨別配分戦略]

- ・基本的な見通しとしては米ドル安の展開を想定するも、イベントリスクや短中期的な相場環境を重視しながらリスク調整を行う方針です。

[種別・個別銘柄戦略]

- ・主要国中央銀行の金融緩和姿勢への転換ないしは強化を受けてクレジットエクスポージャーの積み増しをバリエーションを考慮しつつ継続します。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2019年3月12日～2020年3月9日)		
	金額	比率	
(a)信託報酬	161 円	1.149 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,027円です。
(投信会社)	(61)	(0.438)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(92)	(0.656)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.055)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b)その他費用	14	0.103	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(13)	(0.092)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.005)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	175	1.252	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

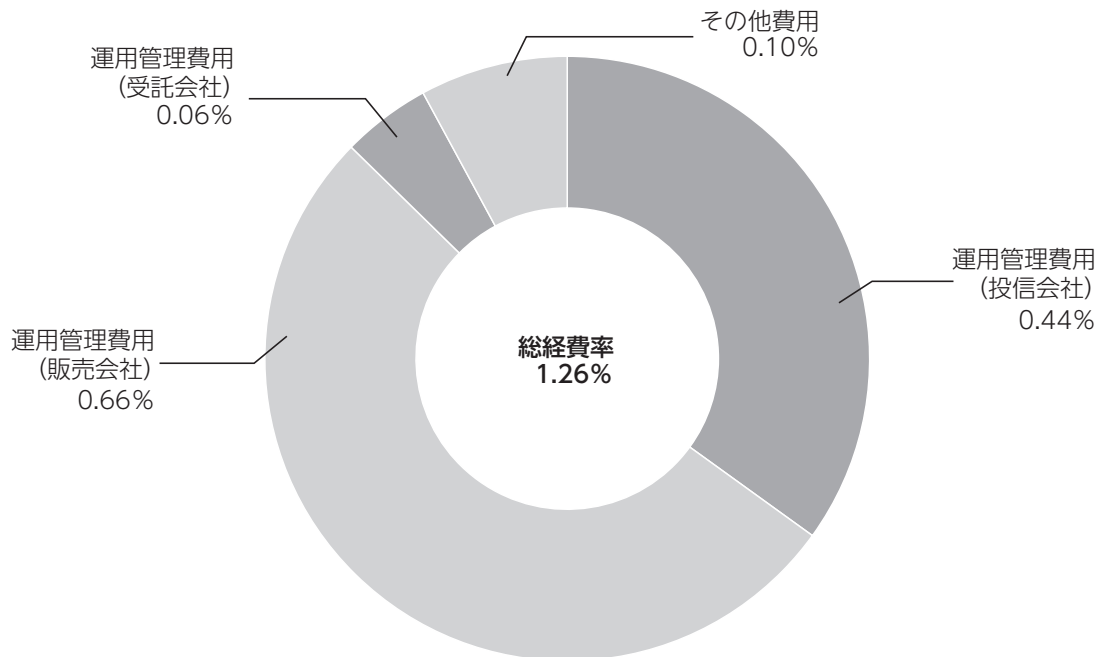
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎**売買及び取引の状況**(2019年3月12日～2020年3月9日)

○親投資信託の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
明 治 安 田 外 国 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 7,558	千円 21,630	千口 7,317	千円 20,830

(注)単位未満は切り捨て。

◎**利害関係人との取引状況等**(2019年3月12日～2020年3月9日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎**組入資産明細表**

○親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
明 治 安 田 外 国 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 46,680	千口 46,922	千円 134,170

(注1)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)明治安田外国債券マザーファンド全体の当期末受益権口数は(475,635千口)です。

◎投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
明治安田外国債券マザーファンド	134,170	97.3
コール・ローン等、その他	3,753	2.7
投資信託財産総額	137,923	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 明治安田外国債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,325,739千円)の投資信託財産総額(1,381,069千円)に対する比率は96.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=102.01円、1カナダドル=74.98円、1メキシコペソ=4.87円、1ユーロ=115.85円、1ポンド=133.27円、1スウェーデンクローナ=10.88円、1ノルウェークローネ=10.73円、1ポーランドズロチ=26.86円、1オーストラリアドル=67.44円、1ニュージーランドドル=64.59円、1マレーシアリングギット=24.29円、1南アフリカランド=6.36円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

◎損益の状況

自 2019年3月12日
至 2020年3月9日

2020年3月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	137,923,602円
コール・ローン等	3,753,320
明治安田外国債券マザーファンド(評価額)	134,170,282
(B)負 債	3,114,040
未払収益分配金	2,359,507
未払信託報酬	750,896
その他未払費用	3,637
(C)純資産総額(A - B)	134,809,562
元 本	98,312,819
次期繰越損益金	36,496,743
(D)受益権総口数	98,312,819口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,712円

項 目	当 期
(A)有価証券売買損益	3,410,240円
売 買 益	3,616,701
売 買 損	△ 206,461
(B)信託報酬等	△ 1,567,509
(C)当期損益金(A + B)	1,842,731
(D)前期繰越損益金	1,511,287
(E)追加信託差損益金	35,502,232
(配当等相当額)	(56,377,326)
(売買損益相当額)	(△20,875,094)
(F)計(C + D + E)	38,856,250
(G)収益分配金	△ 2,359,507
次期繰越損益金(F + G)	36,496,743
追加信託差損益金	35,502,232
(配当等相当額)	(56,410,726)
(売買損益相当額)	(△20,908,494)
分配準備積立金	10,664,156
繰越損益金	△ 9,669,645

(注1) 当ファンドの期首元本額は95,064,140円、期中追加設定元本額は14,485,755円、期中一部解約元本額は11,237,076円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1,3712円です。

(注3) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注4) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,660,526円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(56,410,726円)および分配準備積立金(11,363,137円)より分配対象収益は69,434,389円(10,000口当たり7,062円)であり、うち2,359,507円(10,000口当たり240円)を分配金額としております。

(注7) 信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するために要した費用は100,189円です。

◎収益分配金のお知らせ

1 万口当たりの分配金（税込み）	240円
------------------	------

※分配金をお支払いする場合

分配金は、決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

【お知らせ】

- ・主要投資対象とする明治安田外国債券マザーファンドに関し、UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッドとの運用指図に関する権限の委託契約を解除し、自社による運用とする投資信託約款の変更を行いました。これに伴い、当ファンドについても所要の変更を行うとともに、信託報酬率を引き下げするために投資信託約款の変更を行いました。（2019年6月7日）

明治安田外国債券マザーファンド

運用報告書

第20期

(決算日 2020年3月9日)

「明治安田外国債券マザーファンド」は、2020年3月9日に第20期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	日本を除く主要国の公社債への投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	日本を除く主要国の公社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		債券 組入 比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率 %	(ベンチマーク)	期中 騰落率 %		
(第16期) 2016年 3月 9日	26,791	△4.6	442.50	△4.8	98.4	1,829
(第17期) 2017年 3月 9日	26,364	△1.6	433.05	△2.1	98.3	1,709
(第18期) 2018年 3月 9日	27,181	3.1	440.05	1.6	98.5	1,494
(第19期) 2019年 3月11日	27,796	2.3	453.26	3.0	93.9	1,429
(第20期) 2020年 3月 9日	28,594	2.9	482.37	6.4	96.7	1,360

(注) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

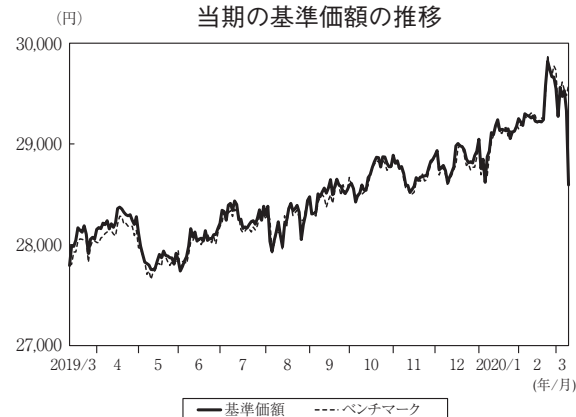
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)		債券組入比率
	円	騰落率 %	(ベンチマーク)	騰落率 %	
(期首) 2019年 3月11日	27,796	—	453.26	—	93.9
3月末	28,154	1.3	456.98	0.8	94.9
4月末	28,117	1.2	456.10	0.6	96.6
5月末	27,848	0.2	455.64	0.5	97.1
6月末	28,213	1.5	459.55	1.4	97.2
7月末	28,298	1.8	460.69	1.6	96.1
8月末	28,477	2.4	464.28	2.4	96.7
9月末	28,591	2.9	467.48	3.1	95.9
10月末	28,888	3.9	470.06	3.7	95.3
11月末	28,889	3.9	470.90	3.9	94.3
12月末	29,047	4.5	472.81	4.3	93.2
2020年 1月末	29,250	5.2	475.35	4.9	94.0
2月末	29,547	6.3	484.79	7.0	94.5
(期末) 2020年 3月 9日	28,594	2.9	482.37	6.4	96.7

(注) 騰落率は期首比です。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2019年3月12日～2020年3月9日)

1 基準価額

(1) 基準価額の推移と主な変動要因



※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)であり、期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首27,796円で始まり期末28,594円で終わりました。騰落率は+2.9%でした。基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・世界的な金融緩和政策、米中通商問題への懸念、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に長期金利が低下し、組入債券の価格が上昇したこと

(下落要因)

- ・米中通商問題への懸念、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に投資家の安全通貨とされる円を買う動きが強まり、主要通貨が円に対して下落したこと

(2) ベンチマークとの差異

当期の基準価額の騰落率は+2.9%となりました。一方ベンチマーク騰落率は+6.4%となり、騰落率の差異は△3.6%となりました。この差異に関する主な要因は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・期首から5月にかけて良好なパフォーマンスだった米国国債をベンチマークに対してオーバーウェイトしたこと
- ・6月7日以降、期中において機動的な調整を行う中、イタリア国債とスペイン国債のオーバーウェイト等の欧州圏における資産配分戦略が奏功したこと

(マイナス要因)

- ・基準価額とベンチマークで採用される為替レートの差異

2 運用経過

運用概況

期首の運用方針に基づき、日本を除く主要国の公社債を中心に投資を行い、公社債の組入比率は原則として高位を維持しました。

なお、運用に関して、2019年6月7日より、UBSアセット・マネジメント(UK)リミテッドとの運用指図に関する権限の委託契約を解除し、自社による運用といたしました。ファンドの運用に影響を及ぼすものではありません。

当期中の投資行動としては、ファンダメンタルズ分析と市場動向分析を踏まえ、各国金利の方向性や通貨の相対的な割高割安の観点から、組入比率の変更や銘柄入れ替えを行いました。

〔デュレーション・イールドカーブ戦略〕

デュレーションは、期首よりベンチマーク対比で短期化した水準を継続しました。6月7日以降は、各国の経済ファンダメンタルズや金融政策の方向性の違い等を考慮し、状況に応じてベンチマークに対して短期化、長期化ともに実施しました。また、米国債については、ベンチマークに対し、デュレーション中立を基準に市場環境に応じて短期化、長期化ともに実施しました。欧州債についてはデュレーションは概ね短期化または中立としました。

〔国別配分戦略〕

ベンチマーク対比で米国、ユーロ圏、英国をアンダーウェイトとしました。

【通貨別配分戦略】

米ドルは、期首はベンチマーク対比でアンダーウェイトとし、4月以降アンダーウェイト幅を縮小しました。ユーロは、期首はアンダーウェイトとし、4月以降アンダーウェイト幅を拡大しました。6月7日以降は、主にユーロ圏通貨をオーバーウェイト、ドル圏通貨のアンダーウェイト戦略を実施しました。

【種別・個別銘柄戦略】

非国債の保有を継続しました。

【債券特性】

	期首	期末
修正デュレーション	7.2	8.1
残存年数（年）	8.8	8.7
複利最終利回り（%）	1.8	0.5

3 今後の運用方針

引き続き、日本を除く主要国の公社債を中心に投資を行い、公社債の組入比率は原則として高位を維持します。以下の各戦略を策定し、ポートフォリオを構築します。

【デュレーション・イールドカーブ戦略】

- ・米国は、カーブ戦略はスティープバイアス、デュレーション戦略は市場のテーマ等を勘案し、短期化・長期をとともに検討します。
- ・ユーロ圏は、低金利環境継続の見通しが市場で強まる中においては、対独スプレッド戦略やロール・キャリーを重視したポジションを検討します。

【通貨別配分戦略】

- ・基本的な見通しとしては米ドル安の展開を想定するも、イベントリスクや短中期的な相場環境を重視しながらリスク調整を行う方針です。

【種別・個別銘柄戦略】

- ・主要国中央銀行の金融緩和姿勢への転換ないしは強化を受けてクレジットエクスポージャーの積み増しをバリエーションを考慮しつつ継続します。

◎1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項目の概要
	(2019年3月12日～2020年3月9日)		
	金額	比率	
(a)その他費用	28 円	0.097 %	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は28,609円です。
(保管費用)	(26)	(0.093)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	28	0.097	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況 (2019年3月12日～2020年3月9日)

○公社債

			買 付 額	売 付 額	
			千米ドル	千米ドル	
外 国	ア メ リ カ	国債証券	5,201	5,653	
		社債証券(投資法人債券を含む)	412	80	
	カ ナ ダ	国債証券	200	216	
			千カナダドル		千カナダドル
	メ キ シ コ	国債証券	2,047	6,034	
			千メキシコペソ		千メキシコペソ
	ユ ー ロ	ド イ ッ	国債証券	1,104	704
			社債証券(投資法人債券を含む)	116	—
		イ タ リ ア	国債証券	1,142	1,819
		フ ラ ン ス	国債証券	1,211	898
		ス ペ イ ン	国債証券	703	719
			社債証券(投資法人債券を含む)	205	—
		ベルギー	国債証券	256	353
		オーストリア	国債証券	—	144
フィンランド		国債証券	—	67	
そ の 他		社債証券(投資法人債券を含む)	—	(100)	
イ ギ リ ス	国債証券		千ポンド	千ポンド	
		746	715		
	ス ウェ ー デン	国債証券	1,110	—	
			千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ	
デ ン マ ー ク	国債証券		千デンマーククローネ	千デンマーククローネ	
		—	1,042		

			買 付 額	売 付 額
外	ポ ー ラ ン ド	国 債 証 券	千ポーランドズロチ 342	千ポーランドズロチ 305
	オ ー ス ト ラ リ ア	国 債 証 券 特 殊 債 券	千オーストラリアドル 410 —	千オーストラリアドル 205 113
国	シ ン ガ ポ ー ル	国 債 証 券	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 126
	南 ア フ リ カ	国 債 証 券	千南アフリカランド 1,061	千南アフリカランド —

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4)社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(2019年3月12日～2020年3月9日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期			組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	末		
	額 面 金 額	評 価 額				5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
ア メ リ カ	5,624	6,231	635,644	46.7	—	21.7	23.5	1.5
カ ナ ダ	千カナダドル 249	千カナダドル 333	24,981	1.8	—	1.8	—	—
メ キ シ コ	千メキシコペソ 1,940	千メキシコペソ 2,052	9,995	0.7	—	0.7	—	—
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ						
ド イ ツ	660	754	87,352	6.4	—	5.2	—	1.3
イ タ リ ア	519	674	78,097	5.7	—	5.7	—	—
フ ラ ン ス	1,168	1,458	168,930	12.4	—	7.1	5.3	—
オ ラ ン ダ	60	64	7,486	0.6	—	—	—	0.6
ス ペ イ ン	755	856	99,178	7.3	—	5.3	0.3	1.7
ベ ル ギ ー	160	192	22,283	1.6	—	1.6	—	—
ア イ ル ラ ン ド	42	53	6,189	0.5	—	0.3	0.2	—
そ の 他	80	86	10,013	0.7	—	0.5	0.3	—
イ ギ リ ス	千ポンド 550	千ポンド 656	87,466	6.4	—	3.9	2.5	—
ス ウ ェ ー デ ン	千スウェーデンクローナ 1,220	千スウェーデンクローナ 1,608	17,504	1.3	—	1.3	—	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 150	千ノルウェークローネ 156	1,676	0.1	—	0.1	—	—
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 260	千ポーランドズロチ 283	7,619	0.6	—	0.6	—	—
オ ー ス ト ラ リ ア	千オーストラリアドル 298	千オーストラリアドル 361	24,405	1.8	—	1.1	0.7	—
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニューージーランドドル 200	千ニューージーランドドル 204	13,193	1.0	—	—	—	1.0
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 275	千マレーシアリンギット 280	6,813	0.5	—	—	0.5	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 940	千南アフリカランド 1,062	6,755	0.5	—	0.5	—	—
合 計	—	—	1,315,590	96.7	—	57.4	33.2	6.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

当		期			末		償還年月日
		種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
銘 柄 名						外貨建金額	邦貨換算金額
				千米ドル		千円	
(アメリカ)			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	US TREASURY N/B 1.375%	国債証券	1.375	200	205	20,990	2023/ 9/30
	US TREASURY N/B 1.625%		1.625	730	751	76,625	2022/11/15
	US TREASURY N/B 1.625%		1.625	1,008	1,065	108,658	2026/ 2/15
	US TREASURY N/B 1.75%		1.75	480	498	50,820	2023/ 5/15
	US TREASURY N/B 2.375%		2.375	340	380	38,831	2027/ 5/15
	US TREASURY N/B 2.5%		2.5	1,081	1,166	119,025	2024/ 5/15
	US TREASURY N/B 2.5%		2.5	265	335	34,242	2045/ 2/15
	US TREASURY N/B 2.625%		2.625	140	163	16,651	2029/ 2/15
	US TREASURY N/B 2.75%		2.75	150	161	16,439	2023/ 7/31
	US TREASURY N/B 2.75%		2.75	30	39	3,994	2042/ 8/15
	US TREASURY N/B 2.875%		2.875	490	654	66,720	2043/ 5/15
	US TREASURY N/B 3.125%		3.125	130	179	18,285	2041/11/15
	US TREASURY N/B 4.5%		4.5	50	76	7,841	2036/ 2/15
	BNP PARIBAS 3.5%	普通社債券 (含む投資法人債券)	3.5	200	211	21,543	2023/ 3/ 1
	HSBC HOLDINGS 4%		4.0	100	104	10,671	2022/ 3/30
	JPMORGAN CHASE 3.2%		3.2	30	31	3,226	2023/ 1/25
	SOCIETE GENERALE 3.25%		3.25	200	206	21,076	2022/ 1/12
小	計					635,644	
(カナダ)				千カナダドル	千カナダドル		
	CANADA-GOVT 1.5%	国債証券	1.5	95	99	7,484	2026/ 6/ 1
	CANADA-GOVT 4%		4.0	74	117	8,826	2041/ 6/ 1
	CANADA-GOVT 5.75%		5.75	80	115	8,670	2029/ 6/ 1
小	計					24,981	
(メキシコ)				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	MEXICAN BONOS 7.5%	国債証券	7.5	1,940	2,052	9,995	2027/ 6/ 3
(ユーロ)				千ユーロ	千ユーロ		
(ドイツ)	DEUTSCHLAND REP 0%	国債証券	—	320	343	39,782	2029/ 8/15
	DEUTSCHLAND REP 1.25%		1.25	100	147	17,030	2048/ 8/15
	DEUTSCHLAND REP 2%		2.0	140	147	17,078	2022/ 1/ 4
	DEUTSCH BAHN FIN 1.5%	普通社債券 (含む投資法人債券)	1.5	100	116	13,460	2032/12/ 8
(イタリア)	BTPS 3.25%	国債証券	3.25	80	100	11,692	2046/ 9/ 1
	BTPS 4%		4.0	61	82	9,544	2037/ 2/ 1
	BTPS 4.5%		4.5	160	195	22,702	2026/ 3/ 1
	BTPS 4.75%		4.75	168	220	25,521	2028/ 9/ 1
	BTPS I/L 2.55%		2.55	50	74	8,636	2041/ 9/15

当 期 末		種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
銘 柄 名					千ユーロ	千円	
(ユーロ)			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
(フランス)	FRANCE O. A. T. 0.5%	国債証券	0.5	160	172	20,018	2029/ 5/25
	FRANCE O. A. T. 1.75%		1.75	60	79	9,242	2039/ 6/25
	FRANCE O. A. T. 2.75%		2.75	145	181	20,992	2027/10/25
	FRANCE O. A. T. 3.25%		3.25	70	122	14,160	2045/ 5/25
	FRANCE O. A. T. 3.5%		3.5	169	211	24,477	2026/ 4/25
	FRANCE O. A. T. 4.25%		4.25	524	619	71,826	2023/10/25
	FRANCE O. A. T. 5.75%		5.75	40	70	8,212	2032/10/25
(オランダ)	RABOBANK 4%	普通社債券 (含む投資法人債券)	4.0	60	64	7,486	2022/ 1/11
(スペイン)	SPANISH GOV'T 1.45%	国債証券	1.45	50	55	6,481	2029/ 4/30
	SPANISH GOV'T 1.5%		1.5	44	48	5,647	2027/ 4/30
	SPANISH GOV'T 1.85%		1.85	35	41	4,845	2035/ 7/30
	SPANISH GOV'T 2.15%		2.15	350	394	45,670	2025/10/31
	SPANISH GOV'T 2.75%		2.75	30	34	3,956	2024/10/31
	SPANISH GOV'T 3.45%		3.45	20	35	4,135	2066/ 7/30
	SPANISH GOV'T 4.2%		4.2	26	41	4,783	2037/ 1/31
	BANCO SANTANDER 1.375%	普通社債券 (含む投資法人債券)	1.375	200	204	23,656	2022/ 2/ 9
(ベルギー)	BELGIAN 0347 0.9%	国債証券	0.9	110	123	14,265	2029/ 6/22
	BELGIAN 0348 1.7%		1.7	50	69	8,017	2050/ 6/22
(アイルランド)	IRISH GOVT 2%	国債証券	2.0	22	30	3,554	2045/ 2/18
	IRISH GOVT 3.9%		3.9	20	22	2,635	2023/ 3/20
(その他)	GOLDMAN SACHS GP 2%	普通社債券	2.0	30	31	3,673	2023/ 7/27
	GOLDMAN SACHS GP 2%	(含む投資法人債券)	2.0	50	54	6,340	2028/11/ 1
小 計						479,532	
(イギリス)				千ポンド	千ポンド		
	TREASURY 4.5%	国債証券	4.5	40	63	8,401	2034/ 9/ 7
	UK TSY GILT 1%		1.0	250	259	34,556	2024/ 4/22
	UK TSY GILT 1.75%		1.75	260	333	44,508	2049/ 1/22
小 計						87,466	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
	SWEDISH GOVRNMNT 2.5%	国債証券	2.5	840	975	10,608	2025/ 5/12
	SWEDISH GOVRNMNT 3.5%		3.5	380	633	6,896	2039/ 3/30
小 計						17,504	
(ノルウェー)				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	NORWEGIAN GOV'T 1.5%	国債証券	1.5	150	156	1,676	2026/ 2/19
(ポーランド)				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	POLAND GOVT BOND 2.75%	国債証券	2.75	260	283	7,619	2029/10/25

当 期		末		評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
銘 柄 名	種 類	利 率	額 面 金 額	外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
AUSTRALIAN GOVT. 3%	国債証券	3.0	50	69	4,656	2047/ 3/21
AUSTRALIAN GOVT. 3.25%		3.25	128	157	10,647	2029/ 4/21
AUSTRALIAN GOVT. 5.75%		5.75	120	134	9,101	2022/ 7/15
小 計					24,405	
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
INT BK RECON&DEV 3.5%	特殊債券 (除く金融債)	3.5	200	204	13,193	2021/ 1/22
(マレーシア)			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
MALAYSIA GOVT 3.418%	国債証券	3.418	275	280	6,813	2022/ 8/15
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
REP SOUTH AFRICA 10.5%	国債証券	10.5	940	1,062	6,755	2026/12/21
合 計					1,315,590	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,315,590	95.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	65,479	4.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,381,069	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(1,325,739千円)の投資信託財産総額(1,381,069千円)に対する比率は96.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=102.01円、1カナダドル=74.98円、1メキシコペソ=4.87円、1ユーロ=115.85円、1ポンド=133.27円、1スウェーデンクローナ=10.88円、1ノルウェークローネ=10.73円、1ポーランドズロチ=26.86円、1オーストラリアドル=67.44円、1ニュージーランドドル=64.59円、1マレーシアリングギット=24.29円、1南アフリカランド=6.36円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

◎損益の状況

自 2019年3月12日

至 2020年3月 9日

2020年3月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,381,069,519円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	57,515,034
公 社 債 (評 価 額)	1,315,590,282
未 収 利 息	7,012,625
前 払 費 用	951,578
(B)負 債	21,041,213
未 払 金	21,003,859
未 払 解 約 金	30,000
そ の 他 未 払 費 用	7,354
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	1,360,028,306
元 本	475,635,358
次 期 繰 越 損 益 金	884,392,948
(D)受 益 権 総 口 数	475,635,358口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	28,594円

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	32,866,274円
受 取 利 息	32,717,250
そ の 他 収 益 金	149,024
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	9,950,349
売 買 益	129,258,867
売 買 損	△119,308,518
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,387,197
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	41,429,426
(E)前 期 繰 越 損 益 金	915,236,676
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	70,097,143
(G)解 約 差 損 益 金	△142,370,297
(H)計 (D + E + F + G)	884,392,948
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	884,392,948

(注1) 当親ファンドの期首元本額は514,288,204円、期中追加設定元本額は37,736,857円、期中一部解約元本額は76,389,703円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、明治安田外債日本株ファンド111,947,125円、明治安田ライフプランファンド50 94,483,979円、明治安田ライフプランファンド20 88,704,941円、明治安田外国債券ファンド46,922,530円、フコク株50大河45,395,425円、明治安田ライフプランファンド70 37,132,829円、フコク株25大河30,102,068円、明治安田V A外国債券ファンド 適格機関投資家専用10,820,047円、明治安田V Aライフプランファンド20 適格機関投資家専用4,139,932円、明治安田V Aライフプランファンド50 適格機関投資家専用3,214,636円、明治安田V Aライフプランファンド70 適格機関投資家専用2,171,279円、大河50V A 適格機関投資家専用335,782円、大河25V A 適格機関投資家専用264,785円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2,8594円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注7) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

- ・ UBS アセット・マネジメント（UK）リミテッドとの運用指図に関する権限の委託契約を解除し、自社による運用とする投資信託約款の変更を行いました。（2019年6月7日）